

# ディスクドッチ愛知県大会 2016



## 大会報告書

## 【大会概要】

日 程 : 平成 28 年 11 月 27 日 (日) 9 : 00 ~ 17 : 00  
場 所 : 名古屋市 守山スポーツセンター  
主 催 : 愛知県フライングディスク協会  
共 催 : 一般社団法人 日本ドッジビー協会  
後 援 : 愛知県教育委員会  
名古屋市教育委員会  
(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団  
(公財) 名古屋市教育スポーツ協会  
一般社団法人 日本フライングディスク協会、  
協 賛 : 文化シャッター株式会社  
株式会社クラブジュニア  
ワタミ株式会社

## 【成績結果】

低学年の部	1 位	AXTOS PHOENIX Kids
	2 位	Fire Jr3
	3 位	G. D. T B
高学年の部	1 位	AXTOS PHOENIX Jr.
	2 位	苗代Victory
	3 位	新知ファンタグレープ
オープンの部	1 位	Team ASO
	2 位	守東ASO
	3 位	新知ファンタジスタ α
一般レディースの部	1 位	JDCレディース
	2 位	ASO 月組
	3 位	Ms.Fire

## 【大会スケジュール】

【大会参加チーム一覧】は別紙資料とします。

## 【講 評】

毎年恒例のディスクドッチ愛知県大会でしたが本大会は愛知県フライングディスク協会主催、日本ドッチビー協会共催によるディスクドッチ大会で愛知県及び岐阜県のチームが参加。

小学校低学年の部（7チーム、予選2リーグ）、同高学年の部（14チーム、同3リーグ）、一般の部（14チーム、同3リーグ）、それに関東ではまだ成立していない一般レディースの部（3チーム、同1リーグ）の4クラス、425名の選手が集まったの大会となった。

コートは3コート、練習会場は別に確保。新ルールでの開催となりました。

スタッフは愛知県協会のメンバー18名と本部2名の合計20名。

審判については、主審・副審は有資格者、線審は各チームから1名ずつ出してもらう仕組みとした。

ディスクドッチは、本年9月1日ルール改正を行ったが、愛知県では新ルールでの大会が開催されるのが初めてであり、特にルールブック「9-5」に定める「5秒ルール」について、コート設定の関係もあり、今回のローカルルールとして、以下での運用とした。

コート間が狭いく、隣のコートにディスク入った場合は急いで取りに行く危険が生じます。

- ① 内野が当てられて、そのディスクが隣のコートに飛んで行った場合はディスクはデッドとし外野は審判からディスクをもらってください。その時から5秒カウントとします。
- ② 内野から味方外野に飛んで行ったディスクを外野が取り損ねて、または触らずに隣のコートに飛んで行った場合は（5秒以内で行けると判断し、急いで取に行けたとしても、危険が生じます）5秒ルールを適応します。

これについては、関東の運用とは若干異なり、全ての壁面、隣接コートに当たった、入った時点で、ディスクをデッドとして、一旦プレーを止め審判からディスクを渡す仕組みとした為、審判もプレーヤーも戸惑いが多くみられる結果となった。

審判としては、主審・副審からは「5秒ルール」に意識が取られ従来のジャッジに集中できない、ディスクをどのタイミングで誰に渡したらいいのか戸惑う、等の声が聞かれた。

途中から線審にディスクを持ってもらい、線審がデッド後のディスクを渡す役目とし、主審・副審には落ち着きが見られ、この方がやりやすい、との声があったが、線審は意識がそちらに行き、肝心のラインファールの見落とし、ディスクの回収に走るなどの場面もあり、必ずしも正しい運用とは思えず、いずれにしろ今後の課題となった。

その他、ルールで大きな問題となった点は無く、以前問題となっていた試合時の野次やマナーの悪い点はごく一部あったようだが、大きな問題は発生しなかった。

試合進行については、前述の問題もあり、試合開始からはじめの5試合位まではゲーム進行に遅れがあったが、徐々にルールと運用に慣れてきたことと、本大会は1時間に10分の休憩時間を設けており、これが時間調整にもなり、第6試合以降はほぼ当初スケジュールの通り進行した。

試合の内容としては、各チーム気合が入っており、どのクラスも白熱した試合が多くみられた。

特徴として、どのクラスも共通して、スローの9割以上がフォアハンドで、熟練したプレイヤーはスピードもあり、且つ狙ったところにコントロールできる人も多く、関東の水準よりも全般としてレベルが高いと思われた。また、キャッチについても積極的で、逃げるよりも取りに行く姿勢を強く感じた。また、戦略としては、外野との速いパス回しを正確に行いながら相手を追い込んで行く方法を取るチームが多く、普段から同じメンバーによる練習と、試合経験の多さがうかがい知れた。

総評として、非常にレベルの高い大会であり、大きな怪我もなく無事に終了することができた。

